

# 事務事業評価シート

事務事業コード	030100	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中核市準備事業		所属名	総務部 総務課

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分		
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営	事業期間		
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	平成26年度 ~ 平成29年度		
目標の種別	施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	根拠法令、 根拠計画等		
	目標設定なし		平成28年度	平成32年度		
		0	0	事業分類区分	ソフト(任意)	
目標の			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
	予算	予算事業名	中核市事業費	予算事業コード	01-02-01-11-16-04	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国(総務省)・県・関係機関等。市市内各課等。</li> <li>・中核市市長会、先行している中核市等。</li> <li>・市民・事業者・関係団体等。</li> </ul>
意図 (どのような状態 にするために)	本市が中核市へ円滑に移行すること。(平成30年4月1日移行予定)
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国(総務省)・県・関係機関等との連携、協議、事務調整等。</li> <li>・中核市市長会、先行している中核市等からの情報収集等。</li> <li>・市民・事業者・関係団体等への情報提供・広報。</li> </ul>

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①国(総務省)との連絡調整 ②中核市移行に関する県・市間の協議 ③庁内における連絡会議等 ④中核市市長会ほか先行市からの情報収集 ⑤市民・事業者等への情報提供	①国(総務省)への申出 ②中核市移行に関する県・市間の協議 ③庁内における連絡会議等 ④中核市市長会ほか先行市からの情報収集 ⑤市民・事業者等への情報提供	<<平成29年度で事業完了>>	<<平成29年度で事業完了>>	<<平成29年度で事業完了>>
	年度別実績	①事前ヒアリング ②県市協議会(3回) ③庁内推進本部会議(2回)、庁内幹事会(5回)、WG(4回) ④中核市市長会会議等参加、先行市視察(3市) ⑤パンフレット、懸垂幕、ミニのぼり旗、等	①国への申出(7/25) ②県・市間の財政負担等の協議 ③庁内における連絡会議等 ④中核市市長会ほか先行市からの情報収集 ⑤記念式典の準備・実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	24,679	30,433	0	0	0
	直接経費 A	1,578	7,012	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	1,578	7,012	0	0	0	
人件費 B	23,101	23,421	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	3.20	3.20	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	中核市への移行(国の政令公布)	件	目標	0	1	0	0	0
		実績		0	1	0	0	0	
	(指標の説明)								
2		目標		0	0	0	0	0	
	実績			0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	実績			0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 行政係 0857-20-3102</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P10（中001）</p> <p>【事業の概要】 鳥取市は、市民サービスの向上と山陰東部圏域の発展の基礎を築くため、平成30年4月1日の中核市移行を目指してきた。中核市への移行に向けて、地方自治法に基づき、中核市指定の申出議案の市議会議決（平成29年3月24日）、県知事から中核市指定の申出の同意書の交付（同年7月3日）を経て、同年7月25日、総務大臣へ中核市指定の申出を行った。そして、同年11月27日の総務大臣による中核市指定の政令立案を経て政令が公布され、鳥取市の中核市移行が正式決定となった。 また、中核市誕生について、市民・事業者へ広く周知・広報するとともに、中核市移行の気運醸成と市民の理解を深めた。</p> <p>【事業の成果】 中核市移行に係る事務調整に関し国（総務省）・県・関係機関等との詳細な調整を図り、リーフレット配布等の広報活動を行った。 1 県・市協議会（3回）の開催 2 中核市移行推進本部（1回）の開催 3 中核市移行推進本部幹事会（4回）の開催 平成28年度 1,578千円 平成29年度 2,107千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成30年4月1日より中核市へ移行し、今後は中核市として、市民サービスの向上と山陰東部圏域の発展の基礎を築くことに取り組んでいく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	中核市への移行(国の政令公布)		100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	平成30年4月1日、中核市へ移行。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	030200	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	施行時特例市事業		所属名	総務部 総務課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営	事業期間	平成17年度 ~ 平成29年度
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	指標設定なし		0	0	事業分類区分
			0	0	運営方法
			0	0	会計区分
予算	予算事業名	施行時特例市事業費			予算事業コード
					01-02-01-11-16-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の施行時特例市(36市)相互の緊密な連携</li> <li>国に対する積極的な意思伝達</li> </ul>
意図 (どのような状態 にするために)	全国施行時特例市市長会の活動を通じ、会員市(36市)相互の緊密な連携を図ることにより、国・県からの権限移譲や地方中枢都市としての機能など、中核市市長会とも協力を図りながら、国への発言権を強化していく。
手段 (どうするか)	総会の開催や、総務大臣との懇談会を開催するほか、中核市市長会、指定都市市長会と連携することにより、国に対する提言・要請活動を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①総会および総務大臣懇談会等各種会議への参加 ②国及び関係機関への提言活動	①総会および総務大臣懇談会等各種会議への参加 ②国及び関係機関への提言活動	<<平成29年度で事業完了>>	<<平成29年度で事業完了>>	<<平成29年度で事業完了>>	
	年度別実績	①総会および総務大臣懇談会等各種会議へ参加し会員市の連携を図りながら地方分権の推進に向けた取り組みを行った。 ②地方分権や財源確保などについて役員市として国及び関係機関への提言活動を行った。	①総会および総務大臣懇談会等各種会議へ参加し会員市の連携を図りながら地方分権の推進に向けた取り組みを行った。 ②地方分権や財源確保などについて役員市として国及び関係機関への提言活動を行った。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	820	8,148	0	0	0	
	直接経費 A	820	829	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	820	829	0	0	0		
人件費 B	0	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	国及び関係機関への提言活動の実施	回	目標	8	8	0	0	0
				実績	8	8	0	0	0
	(指標の説明) 国及び関係機関への提言活動を実施する。								
2	総務大臣との懇談会の開催	回	目標	1	1	0	0	0	
			実績	1	1	0	0	0	
(指標の説明) 総務大臣との懇談会を開催し、国に対する各種要望、地方の意思を伝える。									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 行政係 0857-20-3102</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P02（総004）</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 総会および総務大臣懇談会等各種会議への参加</li> <li>2 国及び関係機関への提言活動</li> </ol> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 総会および総務大臣懇談会等各種会議へ参加し会員市の連携を図りながら地方分権の推進に向けた取組みを行った。</li> <li>2 地方分権や財源確保などについて役員市として国及び関係機関への提言活動を行った。</li> </ol> <p>平成27年度 977千円 平成28年度 820千円 平成29年度 829千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成30年4月1日より中核市へ移行し、今後は中核市市長会の会員として、総務大臣懇談会などに出席し、各市と連携し情報共有を図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	国及び関係機関への提言活動の実施	100%	100%			
	2	総務大臣との懇談会の開催	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	平成30年4月1日、中核市へ移行。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	030300	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地方創生ストリートミーティング事業		所属名	企画推進部	政策企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営	事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他
	指標設定なし	0	0	運営方法	直営
		0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地方創生推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-01-51

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	若い世代
意図 (どのような状態 にするために)	次世代の鳥取市を担う若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため
手段 (どうするのか)	若い世代と市長とのストリートミーティング（座談会）の開催

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	①若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	①若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	①若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	①若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	
	年度別実績	①子育て世代、移住若者世代、働く若者女性、新規就農者、中学生を対象に計6回実施。	①関西在住の若者、首都圏在住の若者、若手経済人、女性起業者を対象に計4回実施。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	747	946	0	0	0	
	直接経費 A	25	214	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	25	214	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	ストリートミーティングの開催	回	目標	6	6	6	6	6
		実績		6	4	0	0	0	
	(指標の説明) 若い世代と市長とのストリートミーティング(座談会)を開催する								
2		目標			0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3		目標			0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 創生戦略室 0857-20-3160</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P38（企007）</p> <p>【事業の概要】 「鳥取市創生総合戦略」では「ひとづくり」を第一の柱に据え、若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため、市長自ら若者と対話し、いただいた意見を施策に反映させていくもの。</p> <p>【事業の成果】 &lt;内容&gt;若い世代と市長とのストリートミーティング（座談会）の開催 平成29年度『地方創生ストリートミーティング』 第1弾「関西若者編」 大学生7名 平成29年 7月 第2弾「首都圏若者編」 大学生9名 平成29年 7月 第3弾「若手経済人編」 若手経済人9名 平成29年11月 第4弾「女性起業家編」 女性起業家6名 平成30年 2月</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施する。平成30年度は、市内大学生、働く女性、県外に出ている若者などと実施予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	ストリートミーティングの開催	100%	67%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	子育て世代との開催を予定していたが、日程調整がつかず、開催する事が出来なかった

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>次世代を担う若者と気軽に對話することができる貴重な場と考え、基本は現状の事業を維持する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	030400	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	構造改革特別区域推進事業		所属名	企画推進部	政策企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営	事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	根拠法令、 根拠計画等	構造改革特別区域法(平成14 年法律189号)
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分 ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	
			0	0	
予算	予算事業名			事業分類区分	ソフト(任意)
				運営方法	直営
				会計区分	一般会計
				予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態 にするために)	教育、農業、社会福祉などの分野における構造改革を推進し、地域の活性化を図り、本市の経済を発展させる。
手段 (どうするのか)	各地域の特性に応じて規制の特例措置を定めた構造改革特別区域を設定する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	平成29年度 ①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	平成30年度 ①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	平成31年度 ①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	平成32年度 ①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	
	年度別実績	①特区申請なし	①特区申請なし				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	722	732	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		全庁への周知	回	目標	3	3	3	3	3
				実績	3	3	0	0	0
(指標の説明) 国からの募集を全庁に周知する。									
	2	認定特区件数	件	目標	1	1	1	1	1
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明) 新規に特区認定された件数									
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153</p> <p>【10次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 構造改革特区申請取りまとめ、全体進捗管理</p> <p>2 国等関係機関調整</p> <p>【事業の成果】</p> <p>地域の取組の妨げとなる規制を取り除くツールとして構造改革特区の申請を行い、地域の自然的、経済的、社会的諸条件等を活かした地域活性化の一助とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H19年 3月 「鳥取市保育所臨時保育士の任用期間延長による保育事業充実特区」</li> <li>・H26年 3月 「鳥取市五しの里さじどぶろく特区」</li> <li>・H28年 3月 「とっとり・やず果実酒特区」</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>1 庁内での活用事例の公表を積極的におこない、検討案件件数を目指す。</p> <p>2 活用のメリット、具体的な事務内容・方法を周知し、市民・職員双方の事務負担を軽減する方向での調整を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	全庁への周知	100%	100%			
	2	認定特区件数	0%	0%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	全庁への周知を実施したが、特区申請はなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>基本は現状の事業を維持しつつ、制度内容、メリット等の周知を引き続き行っていき、活用実績の増を図っていく。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	030500	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域再生計画推進事業		所属名	企画推進部	政策企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営	事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	根拠法令、 根拠計画等	地域再生法(平成17年法律第24号)
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分 ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	
			0	0	
予算	予算事業名			事業分類区分	直営
				会計区分	一般会計
				予算事業コード	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態 にするために)	地域経済の活性化と地域雇用の創造
手段 (どうするのか)	地域再生法に基づく各種メニューを活用した事業を実施する際に、全庁的な調整を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	①年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	
	年度別実績	①グループウェア全庁 掲示板により周知 ・4月8日 ・8月23日 ・3月8日  《成果》 申請による認定 1件(本市単独)	①グループウェア全庁 掲示板により周知 ・7月31日  《成果》 申請による認定 2件(広域1件、単 独1件)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,444	1,464	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	1,444	1,464	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動 指標	1	全庁への周知回数	回	目標	3	3	3	3	3
		実績		3	3	0	0	0	
	(指標の説明)	国からの募集を全庁に周知する。							
2	地域再生計画認定件数	件	目標	1	1	1	1	1	
	実績		1	2	0	0	0		
3			目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 企画調整係 0857-20-3153</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 地域再生計画申請の取りまとめ、全体進捗管理</p> <p>2 国等関係機関調整</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1 必要に応じて計画認定の調整を実施</p> <p>2 29年度申請数(実績) 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年5月認定 麒麟のまち圏域広域観光開拓・推進事業計画(広域連携)</li> <li>・H29年5月認定 「地域商社」の設立を核とした足腰の強い(本市単独) 地場産業のための各種支援事業計画</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>1 庁内での活用事例の公表を積極的におこない、検討案件件数をを目指す</p> <p>2 活用のメリット、具体的な事務内容・方法を周知し、市民・職員双方の事務負担を軽減する方向での調整を行う</p> <p>3 関連交付金等の情報の収集にあたり、各担当課の事業立案時にアドバイス等を積極的に行う</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	全庁への周知回数	100%	100%			
	2	地域再生計画認定件数	100%	200%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>内部調整事務のため、事業自体は現状維持が妥当。          なお、本制度は今後の法律制限解除等の事務処理負担軽減や、国費等の有効財源の活用の際に必要となるため、一層の制度の把握と、行政内部への周知を図ることがあわせて必要と考える。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	030600	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域づくり懇談会開催事業		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策 施策	01 5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営 中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域づくり懇談会開催費			予算事業コード	01-02-01-01-07-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内61地区(地区公民館単位で開催)
意図 (どのような状態 にするために)	地域及び市政の課題を解決し、対話行政を推進することにより、市政の一層の発展と協働による地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするか)	市長以下、幹部職員が地域に出向き、地域課題の解決のため、各地区住民と直接意見交換する。また、当日市民からいただいた意見・要望等は文書にまとめ、各担当課に周知徹底し、改善等について検討する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①地域づくり懇談会の開催 ・32地区開催(鳥取地域17地区、新市域15地区)	①地域づくり懇談会の開催 ・32地区開催(鳥取地域17地区、新市域15地区) ②開催方法の見直し検討	①検討結果を踏まえた開催	①検討結果を踏まえた開催	①検討結果を踏まえた開催
	年度別実績	①地域づくり懇談会の開催 ・28地区 ・986人参加	①地域づくり懇談会の開催 ・32地区 ・1,060人参加			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	3,431	3,545	0	0	0
	直接経費 A	543	617	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	543	617	0	0	0	
人件費 B	2,888	2,928	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	参加人数	名	目標	1000	1000	1000	1000	1000
		実績		986	1060	0	0	0	
	(指標の説明) 懇談会に参加した市民の人数								
2	参加者の満足度		%	目標	50	50	50	50	50
				実績	37	69	0	0	0
	(指標の説明) 懇談会に参加した市民の満足度(アンケート集計結果)								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 コミュニティ支援係 0857-20-3171</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 当初(予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 市長以下、市幹部職員が地域に出向き、市民と直接意見交換を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 30地区 平成28年度 28地区 平成29年度 32地区</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域の取り組みや市の展望などについて市長と地域住民が直接膝詰りで話し合い、地域との協働のまちづくりをさらに前進させる場となるよう、あり方について検討する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	参加人数	99%	106%			
	2	参加者の満足度	74%	138%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地域の取り組みや市の展望などについて市長と地域住民が直接膝詰りで話し合い、地域との協働のまちづくりをさらに前進させる場となるよう、あり方について検討する。</p>		



5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-20-3159</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P40（企012）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>(1) 発行回数…市報：月1回1日発行 支所だより：市報に併せ発行  (2) 発行部数…市報：65,500部 支所だより：15,200部  (3) 規格…市報：A4判カラー32頁 支所だより：A4判二色刷り4頁  (4) 配布方法…搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。  町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等で入手可。  市報配布箇所数…町内会等：約1,240箇所  市報設置箇所数…公共施設：約130箇所 商業施設：約50箇所</p> <p>【事業の成果】 市報、支所だよりとも、最も重要な市政の広報媒体として月1回発行し、公式ウェブサイトへも、PDF版・HTML版・電子書籍版を掲載。  平成27年度 57,976千円  平成28年度 57,416千円  平成29年度 56,357千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 市報は、市政情報入手する重要な広告媒体であることから、商業施設等への設置を拡充し、市報入手しやすい環境整備を行う。 ※その他財源の諸収入は、とっとり市報郵送料。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	とっとり市報に対する肯定的な意見数(年平均)	118%	114%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>市報、支所だよりとも予定どおり月1回発行した。市報については、市政の情報入手先としてニーズが高いことから、今後も設置場所の拡充等について検討する。</p>		



5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-20-3159</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P41（企013）</p> <p>【事業の概要】 市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアで情報提供を行うとともに、他都市との交流を促進するための広域的な情報発信も行う。</p> <p>【事業の成果】 ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアを活用し、本市の行政情報の発信やシティセールス活動の市民への浸透を図った。 1 ケーブルテレビ…行政情報番組 2 新聞…記事下広告、対談記事広告 3 テレビ…スポットCM、企画番組 4 ラジオ…FM放送スポットCM、AM放送スポットCM 5 鳥取駅前地下道広告枠…市政情報や一般広告を掲出</p> <p>平成27年度 44,740千円 平成28年度 47,540千円 平成29年度 43,684千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 広報効果を高めるため、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアの活用を検討するとともに、シティセールス活動の市民への浸透を図る。 ※その他財源の諸収入は、広告料。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	市政広報に係るテレビ・ラジオ番組、新聞等への掲載数(年平均)	110%	120%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>引き続き、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアを活用し、市民に分かりやすく効果的な広報に努める。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	030900	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	ホームページ運用事業		所属名	企画推進部	秘書課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ホームページ運用費			予算事業コード	01-02-01-03-02-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市公式ホームページ
意図 (どのような状態 にするために)	行政、イベント、観光、危機管理等に関する情報を掲載して、市民やインターネットユーザーに対して情報を提供するもの。
手段 (どうするのか)	各課が、行政やイベントなどの情報を入力し、ホームページで情報公開する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	ホームページの内容充実 ①操作研修 ②コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 ①操作研修 ②コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 ①操作研修 ②コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 ①操作研修 ②コンテンツ見直し ③システム更新	
	年度別実績	①ホームページの操作研修会を年1回開催。 ②公式ホームページのコンテンツの見直しを行い、古い情報が掲載されているコンテンツの更新及び不要なコンテンツの削除を実施。(9月、3月)	①ホームページの操作研修会を年1回開催。 ②公式ホームページのコンテンツの見直しを行い、古い情報が掲載されているコンテンツの更新及び不要なコンテンツの削除を実施。(随時)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	11,913	11,310	0	0	0
	直接経費 A	4,694	3,991	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	19	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	767	670	0	0	0	
一般財源	3,908	3,321	0	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数(月平均)	件	目標	100000	100000	100000	100000	0
				実績	92000	67406	0	0	0
	(指標の説明) 鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数(月平均)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-20-3159</p> <p>【10次総施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取市公式ホームページは、平成10年3月に開設し、平成19年10月には担当課で情報更新が可能なシステムを導入、平成22年11月には、報道資料の提供がホームページ上で可能な資料提供WEBシステムの追加導入も行った。平成25年1月には、システムを改修し、画面のリニューアルとスマートフォンやソーシャルメディアへの対応を行った。</p> <p>【事業の成果】 公式ホームページの操作研修会を年1回開催し、担当職員のスキルアップを図った。また、随時、公式ホームページのコンテンツの見直しを行い、古い情報が掲載されているコンテンツの更新及び不要なコンテンツの削除を実施した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市公式ホームページは、平成25年1月に見直しを行ってから5年が経過している。市民の皆さんにより分かりやすいホームページを目指し、平成31年の新庁舎完成を目途に新システムへの更新に着手する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数(月平均)	92%	67%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	定期的な保守点検や操作研修会、コンテンツの見直しなどを予定どおり行った。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	ホームページの更新後、担当期間が経過する中で、現システムでは抜本的な刷新が困難な状況で、魅力あるページ作りの対応ができていない点を課題と考えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	鳥取市公式ホームページは、平成25年1月に見直しを行ってから5年が経過している。市民の皆さんにより分かりやすいホームページを目指し、平成31年の新庁舎完成を目途に新システムへの更新に着手する。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	031000	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	情報提供のあり方改善事業		所属名	企画推進部	秘書課

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	50	まちづくりを支える自立した自治体経営	事業期間	平成28年度 ~ 全期
	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	根拠法令、 根拠計画等	
5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	0	0	運営方法	直営
	0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	情報提供のあり方改善事業費	予算事業コード	01-02-01-03-02-17

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市職員 各種広報ツール 市民
意図 (どのような状態 にするために)	【わかりやすい市政】市民に対し、市政をわかりやすく説明できる職員を育成する。 【伝わりやすい市政】市民に対し、市政が伝わりやすい環境を整備する。 【信頼される市政】政策決定過程から市民参画を促し、市民との情報共有と信頼関係の構築を図る。
手段 (どうするか)	「わかりやすさ」に重点を置いた研修を実施する。 「伝わりやすさ」を重視した計画的な広報を実施する。 広報と広聴が連携し、市民が意見を寄せやすい環境を整備する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	年度別計画	①職員の情報提供能力の向上 ②効果的な広報ツールの活用 ③広報と広聴の連携強化	①職員の情報提供能力の向上 ②効果的な広報ツールの活用 ③広報と広聴の連携強化	①職員の情報提供能力の向上 ②効果的な広報ツールの活用 ③広報と広聴の連携強化	①職員の情報提供能力の向上 ②効果的な広報ツールの活用 ③広報と広聴の連携強化	①職員の情報提供能力の向上 ②効果的な広報ツールの活用 ③広報と広聴の連携強化
年度別実績	①広報専門職員を配置 ②新聞朝刊各紙に「鳥取市からのお知らせ」の折込実施 ③インターネットモニターの実施	①広報専門職員を配置 ②イオン北店フードコートDSで市の情報の放送実施 ③市民政策コメントの実施				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	16,830	14,638	0	0	0
	直接経費 A	2,392	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,392	0	0	0	0	
人件費 B	14,438	14,638	0	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	市政記者室への資料提供件数	件		1500	1500	1500	1500	0
				実績	1548	1539	0	0
(指標の説明) 市政記者室への資料提供件数(市および市民)								
2	CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用世帯数	件		90	100	110	120	0
				実績	92	92	0	0
(指標の説明) CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用自治会数								
3	市民政策コメント1件あたりの平均意見件数	件		20	20	20	20	0
				実績	18	12	0	0
(指標の説明) 市民政策コメントの1件あたりの平均意見件数								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-20-3132</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 情報提供のあり方に関する提言(H25.1.29)を受け、広報専門職員(戦略広報監・キャスター)を配置、効果的な情報提供のあり方について検討を行った。  1 広報担当職員の能力向上      5 CATVの加入促進と視聴率向上  2 ソーシャルメディアの利活用    6 コミュニティFM放送の利用拡大  3 広報と広聴の連携強化          7 職員の情報提供能力向上  4 広報ツールの選択と効果検証    8 政策決定過程の説明ルール化</p> <p>【事業の成果】 1 イオン鳥取北フードコートでのデジタルサイネージで市の情報を放送開始</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後の広報に関する方針の策定や、効率的な運営を検討していくための委員会を組織し、情報提供のあり方を改善する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	市政記者室への資料提供件数	103%	103%			
	2	CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用世帯数	102%	92%			
	3	市民政策コメント1件あたりの平均意見件数	90%	60%			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市民の関心度により市民政策コメントの意見数の多寡がある面は否めないが、市民政策コメント実施要綱に基づいて、広報メディアの活用をはじめ、より効果的な運用を図っていく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	今後の広報に関する方針の策定や、効率的な運営を検討していくための委員会を組織し、情報提供のあり方を改善する。		